

『「地域包括ケアシステム」を支える医商工連携』分科会の活動：高齢者の買い物支援の取り組み

金沢大学・法学系

西村茂

2017年3月16日

なぜ「買い物」が重要なのか？

- **福祉課題**

要支援者及び家族に対する支援。買い物代行はその1つ（富山県）

- **中山間地域振興**

集落の維持・活性化。買い物支援はその1つ。（富山県）

- **家事支援**

一人暮らしの高齢者世帯に対して、日常生活に必要な家事支援（小松市）

- **移動（外出）の保障**

買い物支援はその1つ

買い物、食を主目標とした取り組み

高齢者が1人で買い物に外出できる

- 日常生活動作能力(排泄、入浴、食事、更衣)

⇒より複雑で高次の動作

- 手段的日常生活動作能力（**買い物**、金銭管理、洗濯、外出）

身体面、物理面、心理面から考える

・健康寿命を延ばす

生活の質の維持・向上、医療費や介護給付費等の増大を抑制するには、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばすことが重要。そのためには、栄養・食生活をはじめとした生活習慣の改善を通じて、生活習慣病の発症予防及び重症化予防を図ること。地域高齢者等においては、低栄養状態を予防又は改善し、適切な栄養状態を確保することも重要。その手段の一つとして、配食の果たす役割は実に大きい。在宅医療・在宅介護の推進から、施設以外でも健康・栄養状態を適切に保つこと、かつ口から食べる楽しみも十分得られるような食環境整備は極めて重要。**良質な配食事業**に対するニーズは今後ますます高まる。

(厚労省「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理の在り方検討会報告書」平成29年3月1日)

「配食」を「移動販売」に置き換えて読める

配食について

「ニッポン一億総活躍プラン」（2016年6月2日閣議決定）において、

「配食を利用する高齢者等が適切な栄養管理を行えるよう、事業者向けのガイドラインを作成し、2017年度からそれに即した配食の普及を図る。」と示された。

※配食サービスとは

在宅での摂取用として、次に掲げる食事を継続的に宅配する事業。

主食、主菜及び副菜の組合せを基本とする、1食分を単位とした調理済みの食事(冷凍食品等を含む)

⇔宅配される食材料、寿司、ピザ等

バリアフリー

高齢者は運動機能が低下。高齢者にとって、住宅内には様々なバリアが多く、日常生活を送ることが難しくなっているケース。高齢者のみの世帯では、日々の生活自体が大変、住み慣れた住宅に安全・安心かつ快適に住み続けられるためにバリアフリー改修が必要。

(国土交通省国土技術政策総合研究所 研究資料「高齢者等の身体特性に対応したバリアフリー改修の計画手法」)。

住宅を買い物・外出に置き換えて読める

会話・交流により元気になる

- 買い物には会話がある。
- 商店内の空きスペースを利用した、地域住民の交流という取り組みがある。各種福祉関係団体のカフェなど。ボランティアが提供する飲み物を交えて会話を楽しめる地域の交流拠点

買い物支援策の意義

以上のような点から

買い物や食から地域の課題を整理し、高齢者を元気にする施策を体系化できるのではないかと考える。

1019市町村(2014年)で実施中の取組

物流ネットワークを活用した地域支援の取組

(国土交通省「地域を支える持続可能な物流システムのあり方に関する検討会報告書」2015年3月)

高齢者等の見守り	326
給食サービス	184
買い物支援	167
介護サービス	90
バス、タクシー、NPO運送の活用	77
その他	41

多様な活動内容の評価

「見守り」は非常に重要な活動

しかしそれだけでは不十分ではないか

栄養や運動にまでは関わらない

店舗⇒住宅(物の移動)

見守り活動が可能

a) 宅配（給食サービスほか、行政による業者支援）

(福井市) 福井市商店街連合会が主体となり、買い物に支障をきたす住民（市内全域）に商品の宅配サービス

(小矢部市) 買い物弱者を対象に移動販売・宅配サービス等の買い物支援事業を実施する事業者に対し、事業の初期費用及び運営費用の一部を補助(買い物支援事業補助金)

b) 買い物代行(購入、配達、支払い)行政による業者支援

(北海道・黒松内町) NPO法人が地域内商店で購入代行・配達・支払代行。安否確認、見守りを兼ねる

c) 移動販売業者への財政支援

(経済産業省「平成28年度 地方公共団体における買い物弱者支援関連制度一覧」2016年4月(⇒北海道と北陸の自治体の取り組み) より)

住宅⇒店舗(人の移動)

外出するという意義
品物を見て選べる
交流、声かけも可能

a)新規店舗

(金沢市) 生鮮三品を含む食料品店の新規出店促進及び既存店の振興。①
店舗改装工事 (補助率1/2) ②移動販売車両等の設備購入費 (補助率1/2)

b)公共交通の充実

運行、運行委託、行政による業者、住民への補助

七尾市の買い物環境

- ・ 七尾フィッシャーマンズワーフ能登食祭市場
- ・ 辻口博啓美術館 ル ミュゼ ドウ アッシュ

食料品

- ・ どんたく、生協、JA

日用品

- ・ コメリ、ロッキー、カーマ、ヤマキシ、ナフコと郊外型ホームセンターが5店舗
- ・ 駅前にパトリア(ピアゴ)
- ・ かほく市か、高岡市にあるイオンモール
- ・ 洋服はユニクロ、しまむら、JACK、MATSUYA

飲食店

- ・ 寿司屋
- ・ 中華、カレー（ココイチ、チャンピオンカレー、ゴーゴーカレー）、すき家、モスバーガー、ココス、8番らーめん
- ・ うなぎ屋、焼き鳥屋、焼肉屋、おでん屋など

お洒落処

問題は移動手段

分科会の取り組み

- 健康福祉部福祉課・健康推進課・保険課と産業振興課による協議
- 定期的に問題を協議し、課題を把握する作業
- 分科会の課題の明確化・意識化

2016年度の分科会での取り組み①

- 移動販売事業者への聞き取りにより、地域・住民の実態を把握する作業
- **JA どんたく 個人事業者**
- 移動販売車への補助金を活用

移動販売の現状

- 年々利用率が減少している。他方で、中能登町や高齢者施設から要望がある。
- JAの支店が2017年度に9支店から3支店になるため移動販売を拡充する予定
- 利用者は、買物難民としてではなく、友達として見ている。通院の日に病院へ行ってなかったら「病院へいけ」と叱る。
- ロコミなどで新しい顧客を確保
- 救える命もあった。相互に市と連携できれば良い。
- 「とくし丸」

商品ロスは、どんたく側の負担。ガソリン等、車にかかる経費は、ドライバー（オーナー）負担。酒、タバコ、冷凍食品以外の1300点の商品を取り扱う。商品の値段は、バーコードが付いたもののみ店舗価格から10円プラス。

市との連携を要望

- 健康に関するチラシの配布もしていきたい。
- 高齢者のルートが決められているので回れない。
緩和してほしい。

2016年度の分科会の取り組み ②

市内のどの地域が問題かを把握する作業

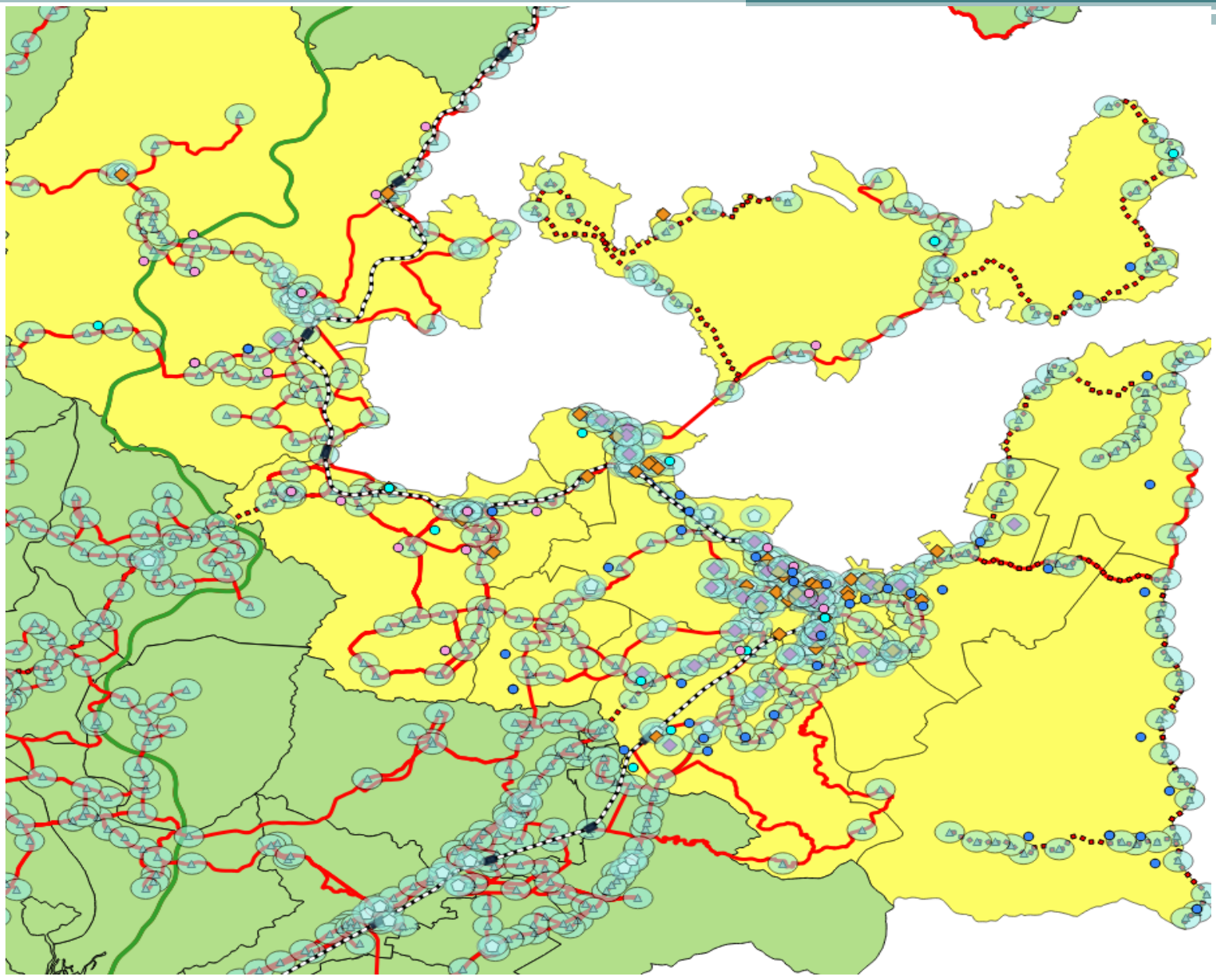
GIS（地理情報システム）を活用してアクセスマップ^①を独自に作成。半径500m（歩いて行ける距離）

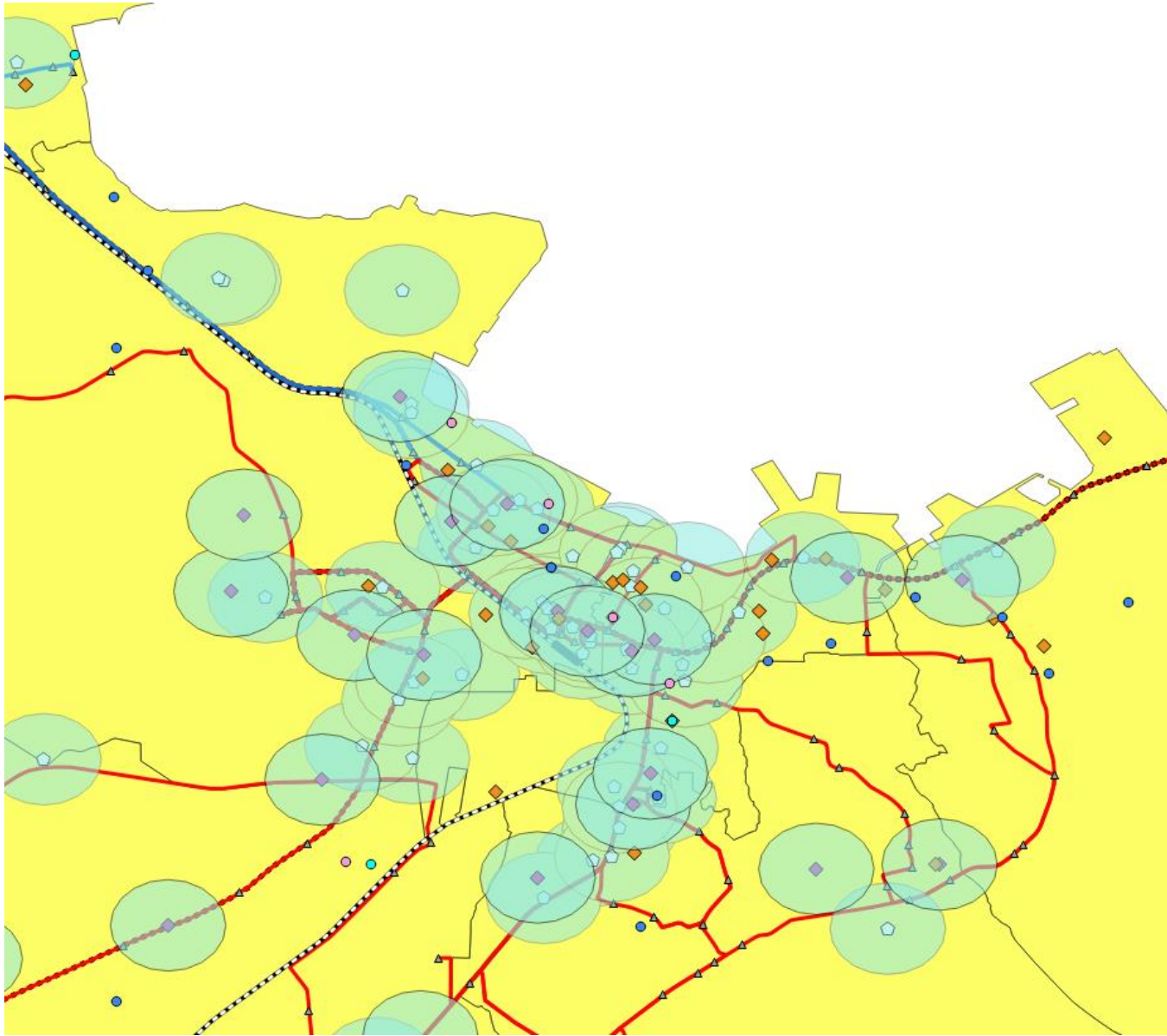
- 丸 青薄緑・・・介護施設、
- 丸 青・・・健康づくり教室
- 丸ピンク・・・よりあいの場
- ひし形 オレンジ・・・スーパー
- ひし形 紅・・・コンビニ
- 五角形 白・・・病院
- 三角形 灰色・・・バス停

使用したデータ（基本データは、国土地理院）

1. 「介護予防グループデイ」住所を付与したデータ
2. 「いきいき健康クラブ」住所を付与したデータ
3. 「よりあいの場」住所を付与したデータ

※農林省の作成した既存のマップは「約500m四方の単位で、生鮮品販売店舗への徒歩アクセス困難の人口割合」を色分けしたもの。どこにどのような店舗・施設があるかはわからない



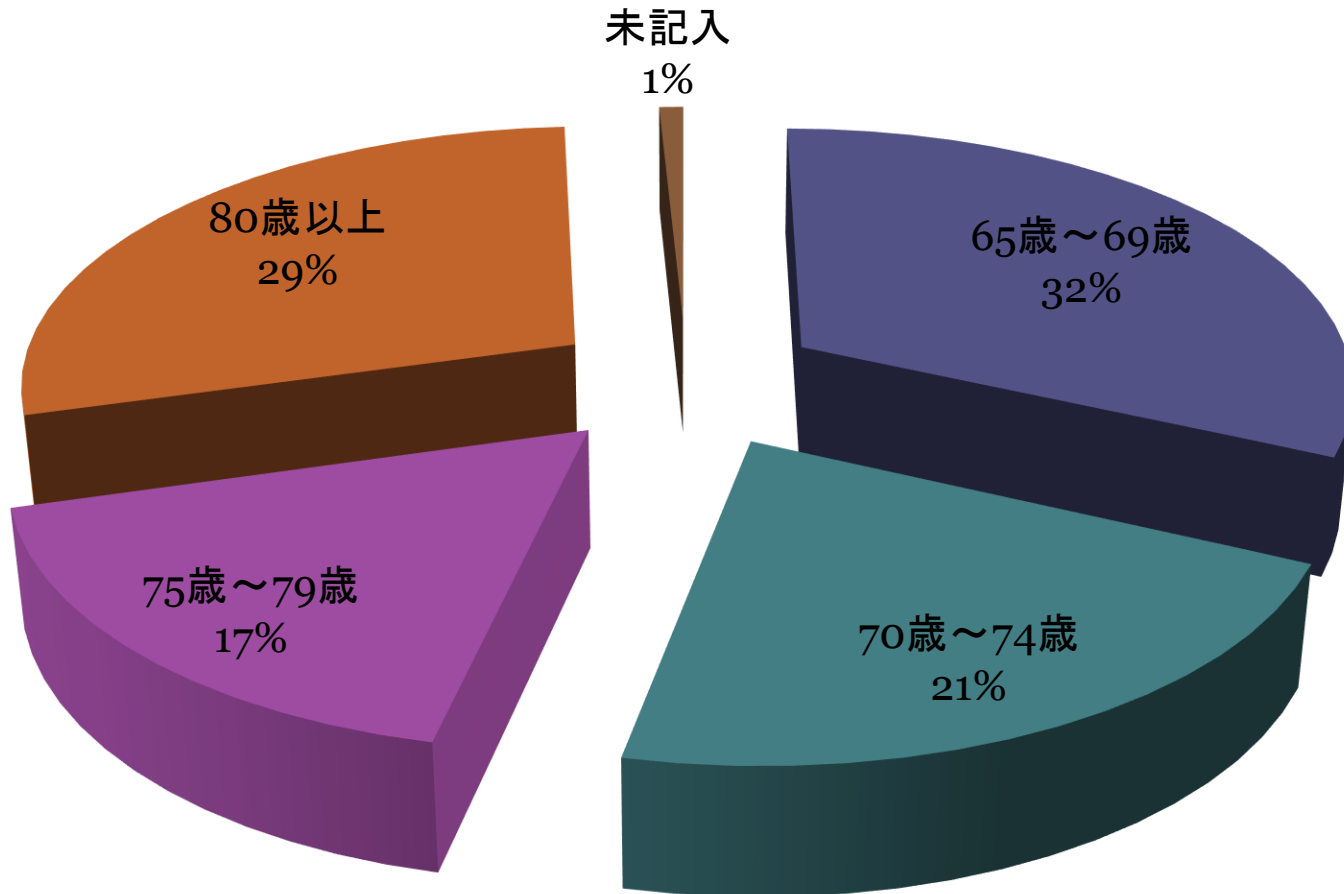


2016年度の分科会の取り組み③

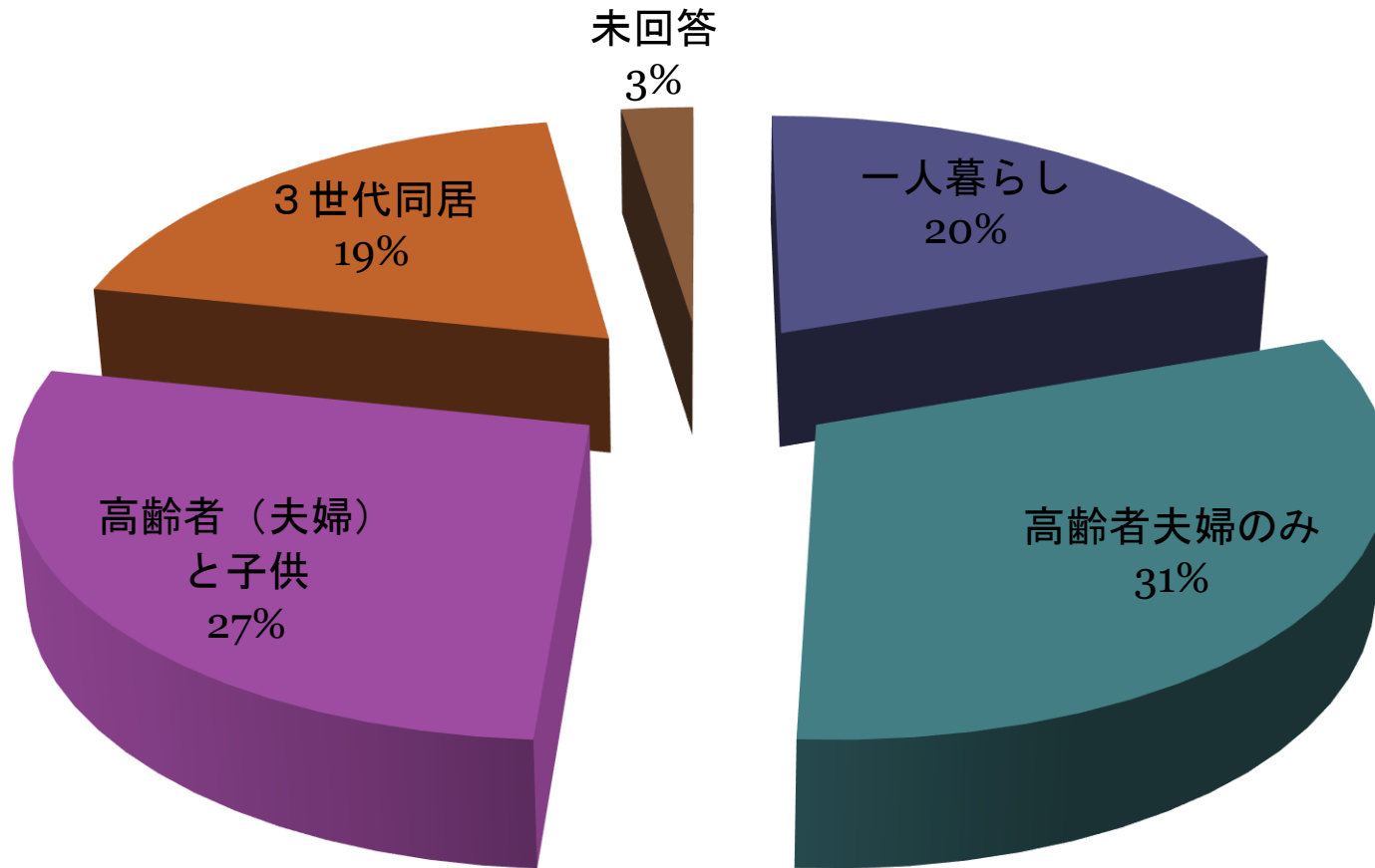
住民アンケートによるニーズ、行政の課題把握

- 65歳以上対象・無作為抽出
- 2017年2月3日～15日(郵送・返信)
- 493名から回答

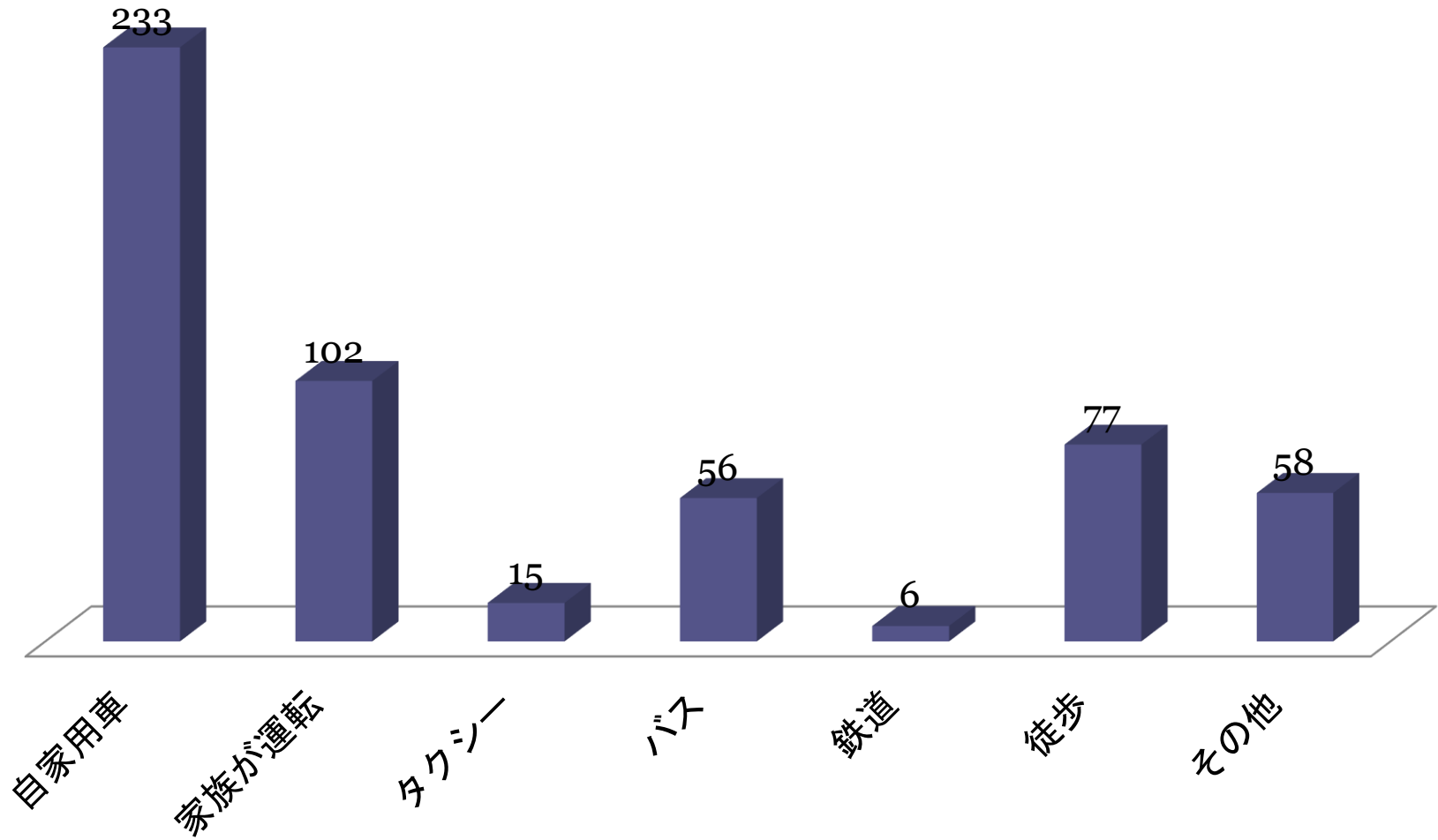
年齢構成



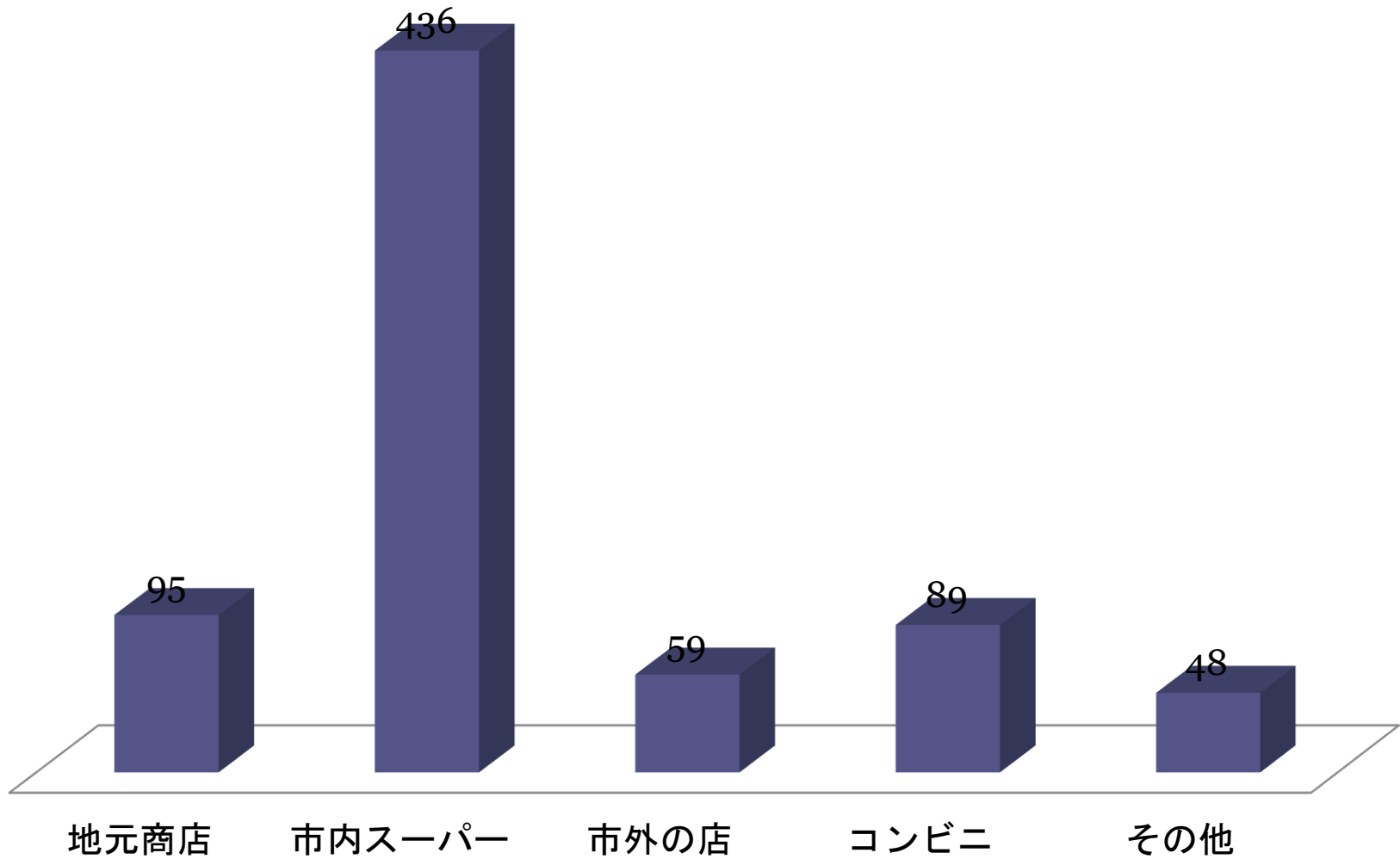
同居家族



交通手段(複数回答)



利用する店(複数回答)



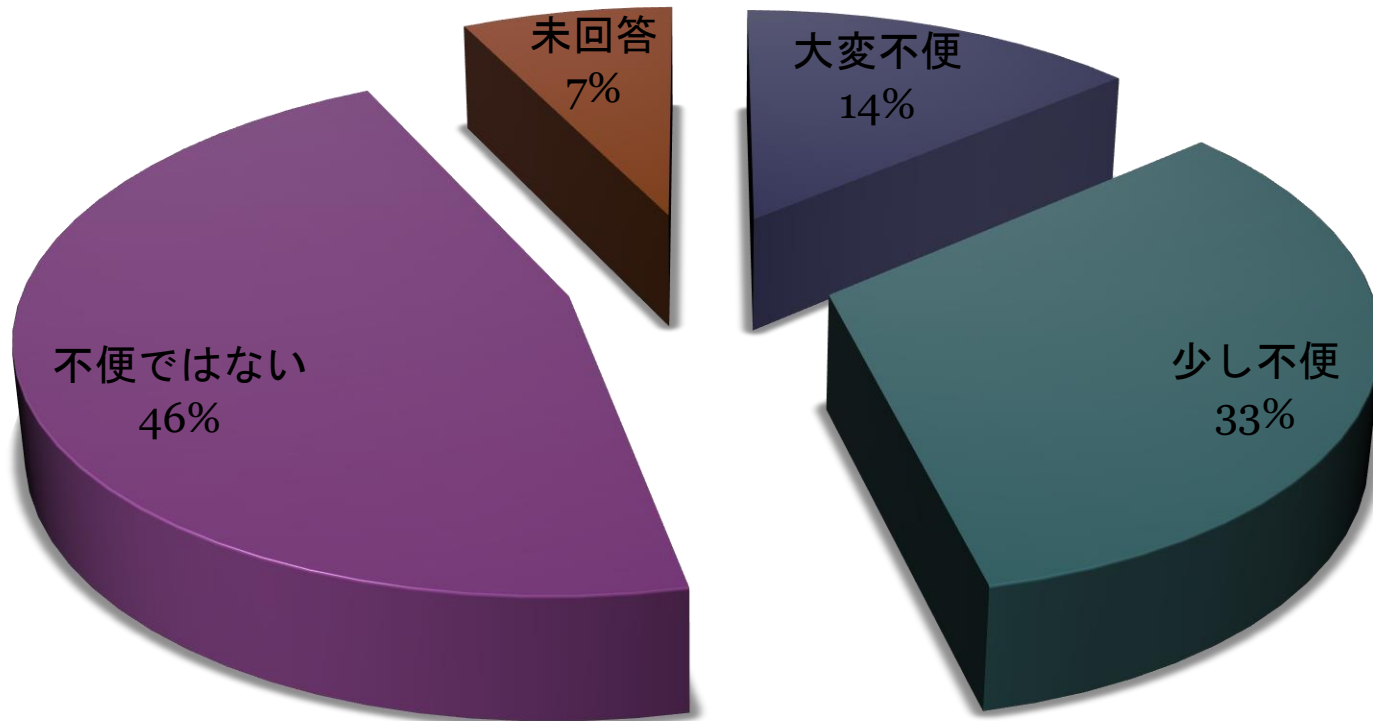
その他の内訳

JA10人

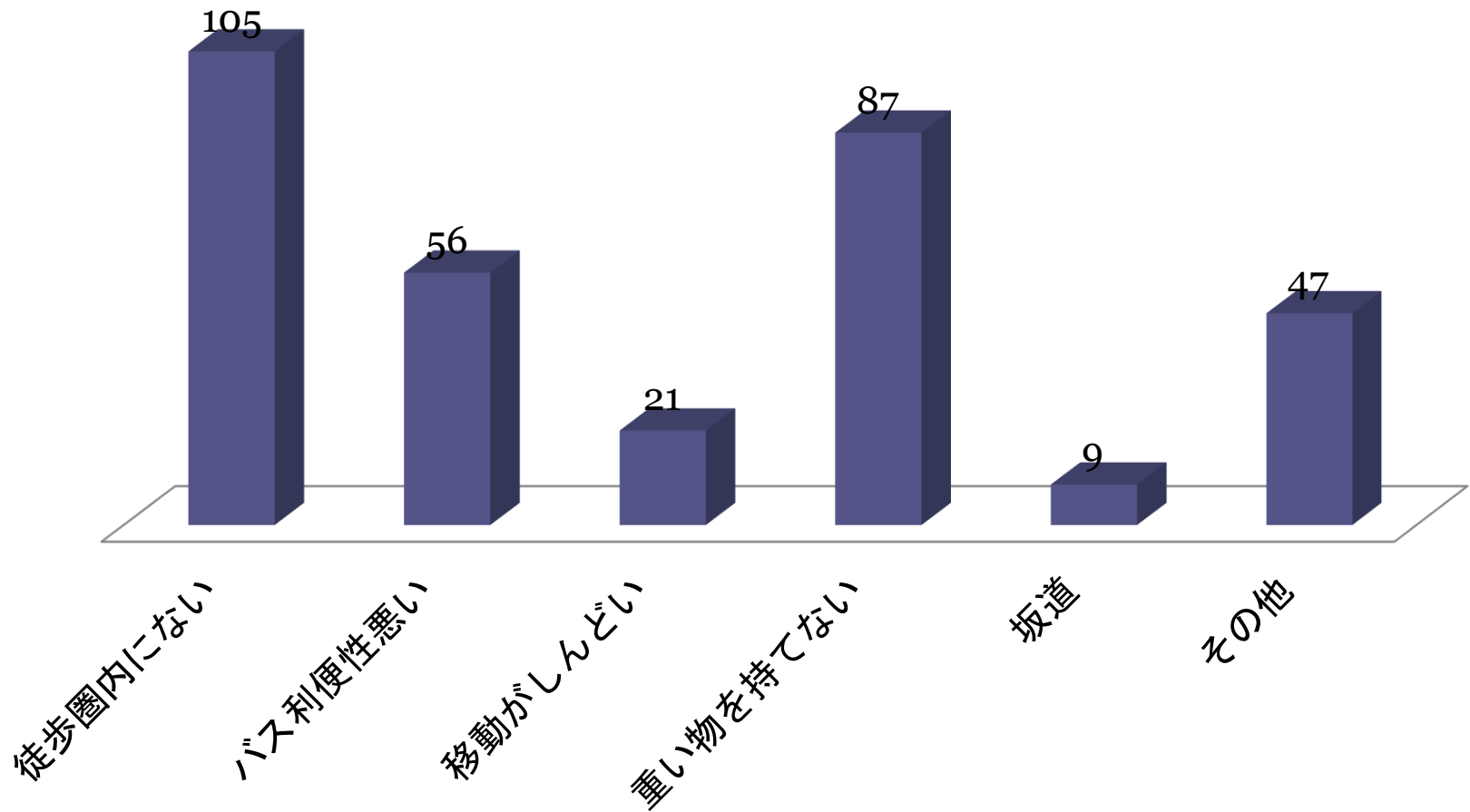
生協13人

移動販売7人

買い物の便・不便



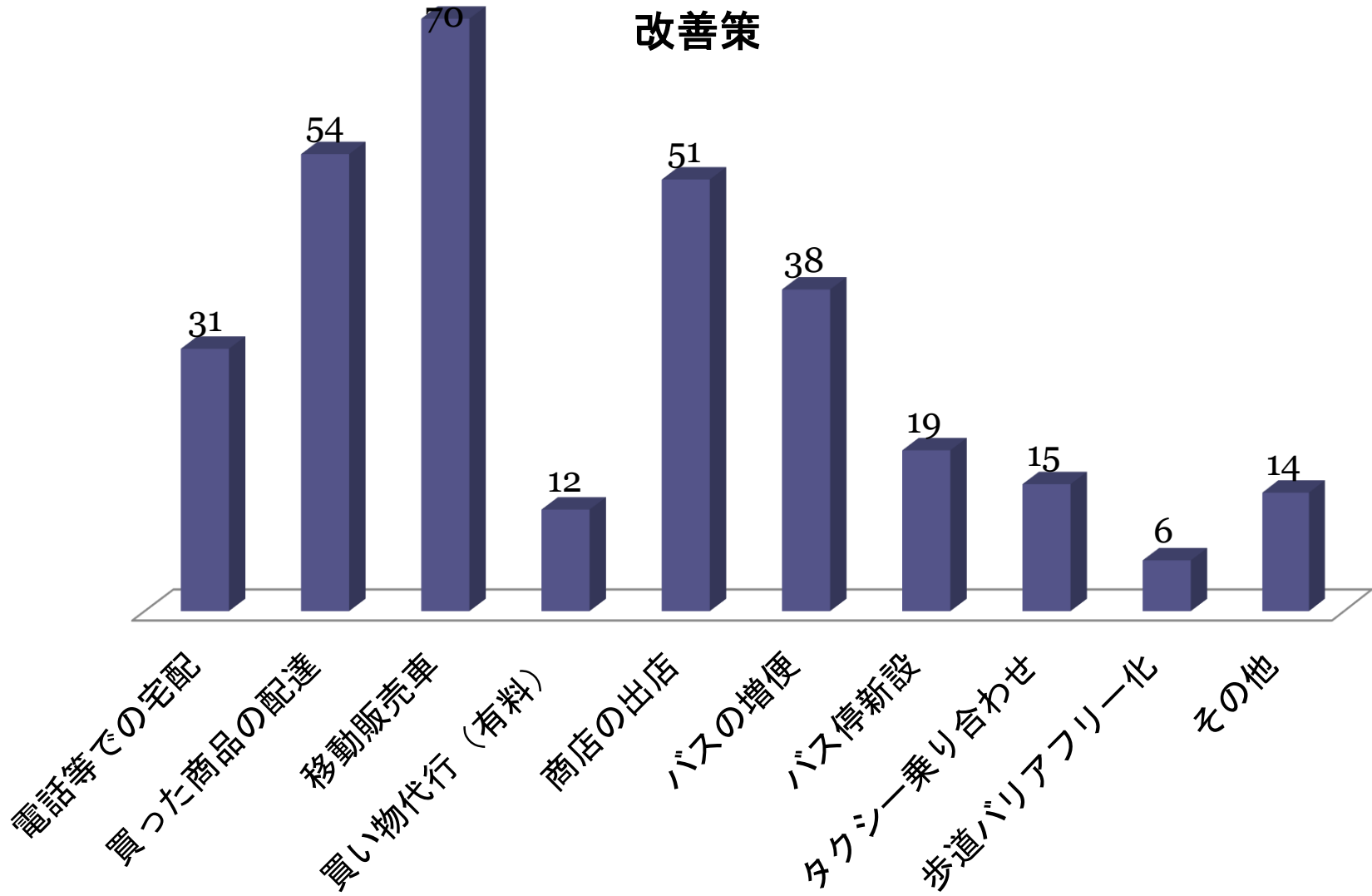
不便の理由(複数回答)



「その他」の理由の記述

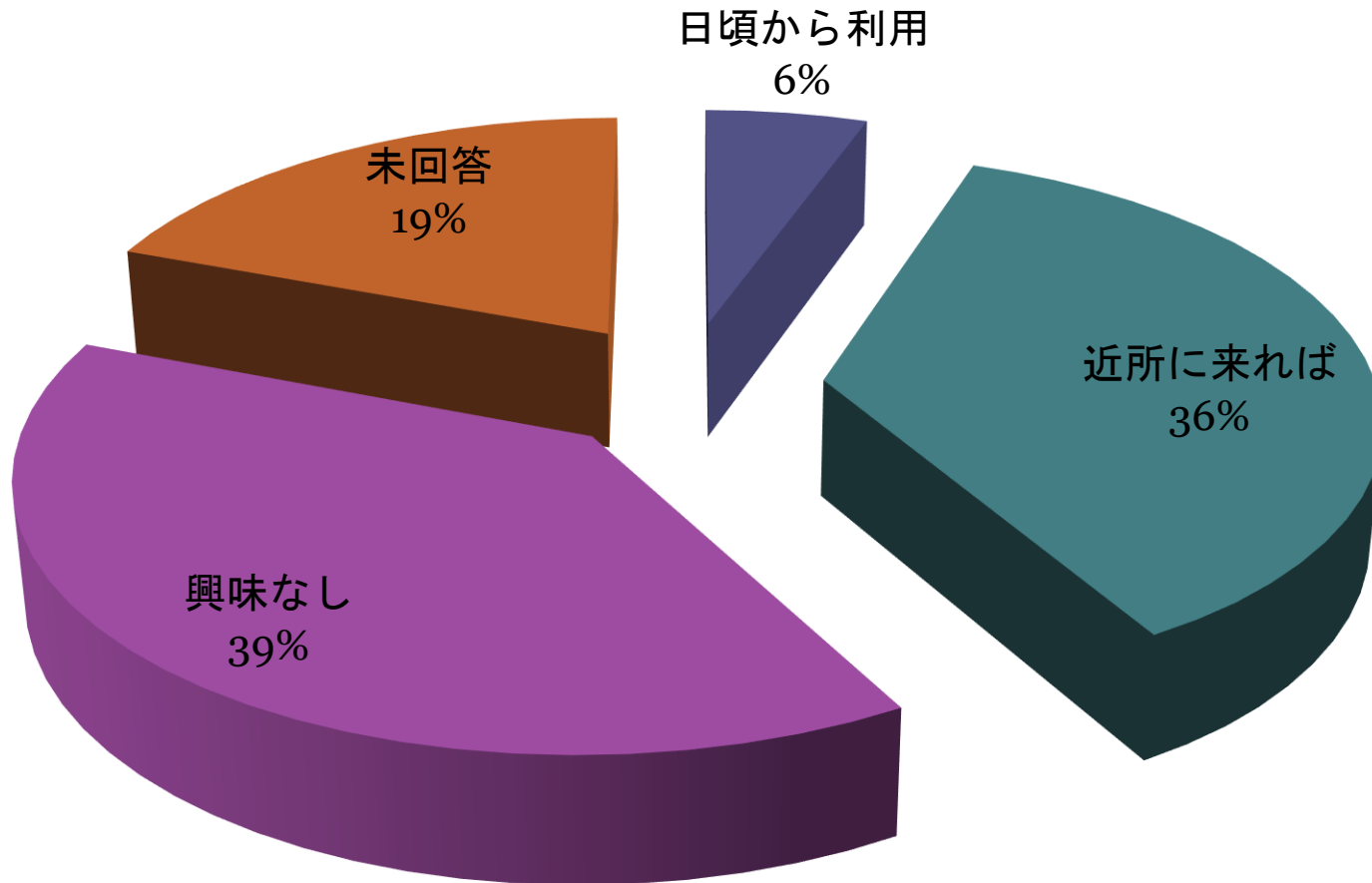
- 運転できなくなかった、運転が不安、運転が億劫、運転できなくなるときが大変心配、駐車の際に何回か車を傷つけた、ガソリン代、高齢者なので運転が心配
- バスの乗降り時間がかかり皆様のご迷惑に、七尾から金沢へ直接行くバスがない
- 店がない、閉店した、近くにない、毎日の買物（食品）で走行距離が長い、時間がかかる
- 自分で行けない、多くて持てない、膝が悪い、車道を横断できない、思うように歩けない、障がい者、レジが難しい、息子の休日にしか出かけられない
- 品数少ない、品揃えが多い店は遠い、スーパーがない、店が選べない、日用品が少ない、1箇所では済まない、安くて品質の良い品のある店があればよい
- 雨の日が困る、冬の雪道

改善策



移動販売への要望が多い

移動販売について



分科会の今後の課題

産業、観光における具体的な成果？
住民の生活における目に見える成果？

① 市内各地域の具体的課題と対応策を明確にする

作成した地図とアンケート調査の具体的な活用を検討する必要

② 健康的な食事という課題取り組む

どのようにしたら栄養面を、住民、事業者に取り入れてもらえるか？

配食サービスに比較すると、栄養面では自宅調理には課題がある

- 利用者等への情報提供、移動販売に関する相談先など
- 事業者への指導